

# Scissors Wall System and Deployable Pillar

金子尚史

制作主旨

自分が住む船橋市ではスポーツ健康都市宣言を行っている。船橋市運動公園では毎日様々な年代の人がジョギング、散歩など、いろいろなスポーツで汗を流し、週末ともなるとたくさんの人々で賑わう。またスポーツフェスティバルなどのイベントも行われており、そのようなイベント開催時に仮設の建築物として利用することを提案した。

仮設建築物であるため、輸送（コンパクトな収納）や施工（少ない時間と人手での展開）の合理化をはかり目的や用途によって様々な形態にし建築空間をつくることを考える。

本提案は、シザーズ壁システムと展開する柱を用いた仮設の建築物であり、展開構造の一つであるシザーズ構造を利用し可動が可能で階高を変えることのできるシステムとなっている。また、可動し高さが変わる壁とともに柱も折りたたみ式の展開構造を用い高さを変えることができる。

提案する利用方法としては、外壁の意匠材を変えることによって、光を多く取り入れているときにはフリーマーケットや美術展示、また暗幕を取り付ければ小規模な映画館や壁の配置を変えることによって野外音楽ステージなどの利用が可能である。

講師評：斎藤公男

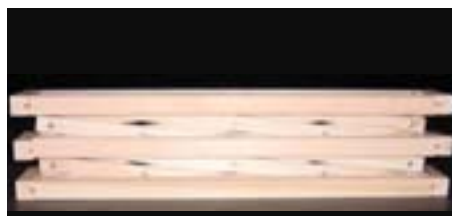
金子君の卒業制作のテーマは、イベント開催時に利用する仮設建築の提案である。スポーツフェスティバルや野外コンサート等のイベントのための仮設建築には、用途ごとに異なる規模が要求され、また比較的大きな規模の場合、重機等を用いて組み立てが行われるのが一般的である。今回、提案された仮設建築物は輸送と施工の合理化を追求し、二つの展開システムの組み合わせから構成されている。一つは、屋根の自重を支え、かつ耐震要素として架構の安定化に寄与する伸縮可能な柱で、斜材の取り外しにより折りたたみ可能なシステムでユニークな機構となっている。もう一つが、柱間に配置された“シザーズ（はさみ）の機構”で展開する壁である。いずれのシステムも人力による施工を意図した計画がなされ、階高の段階的な調整が可能なこと、また外装材の工夫により様々なイベントへ対応可能なことは、本システムの適用範囲の広さを示している。今後、より詳細な構造安全性の検討、ディテールの検討、人力施工に関する検証等を行うことで、更にリアリティーを持つ提案となることが期待される。



平面



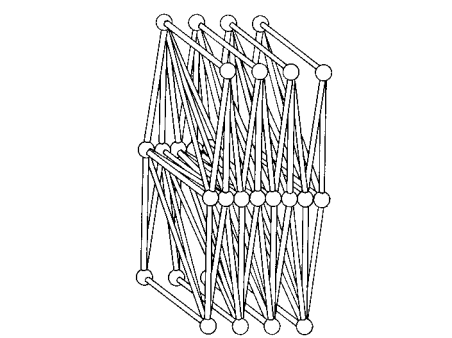
立面



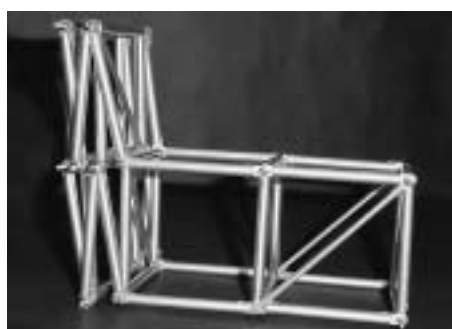
収納時



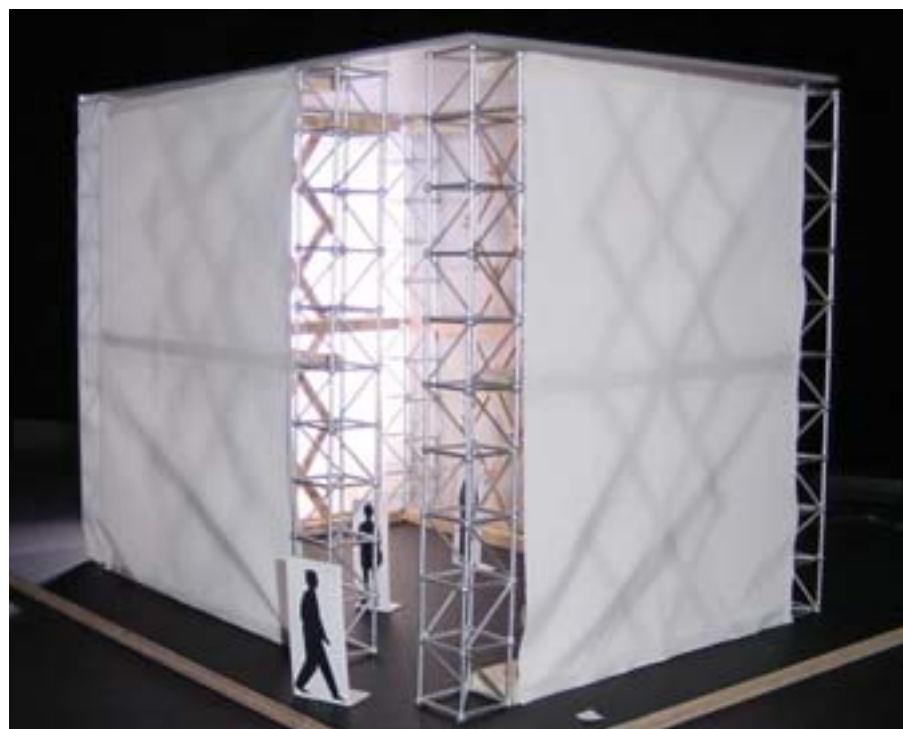
展開途中



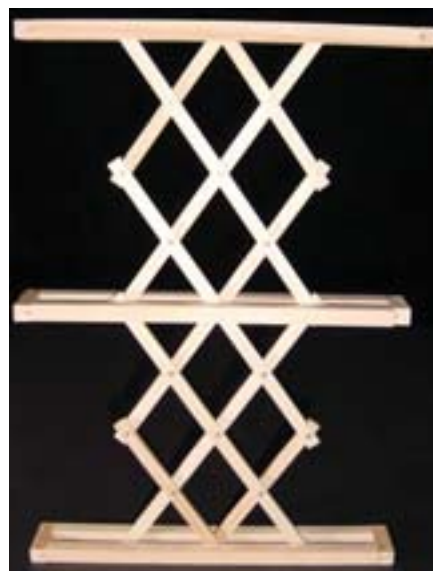
収納時



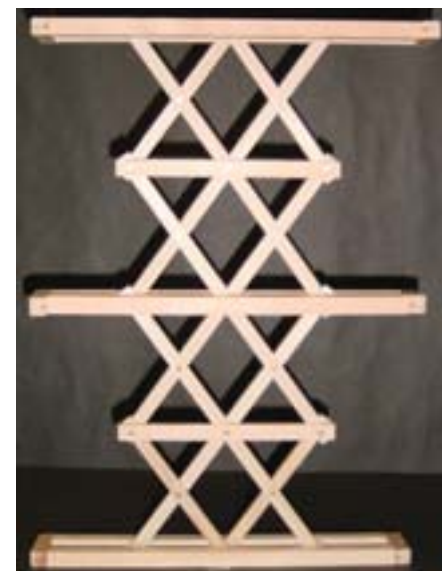
展開途中



透光性を有する仕上材を外壁に用いた模型

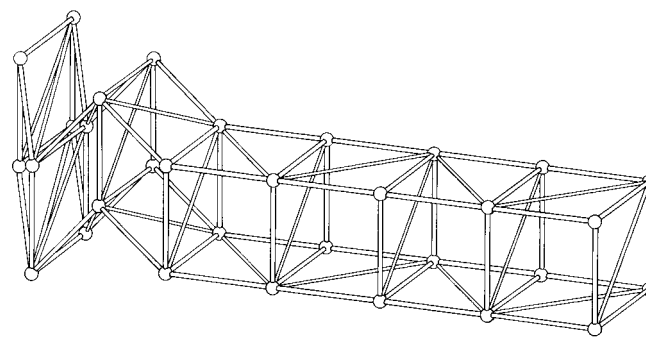


展開途中

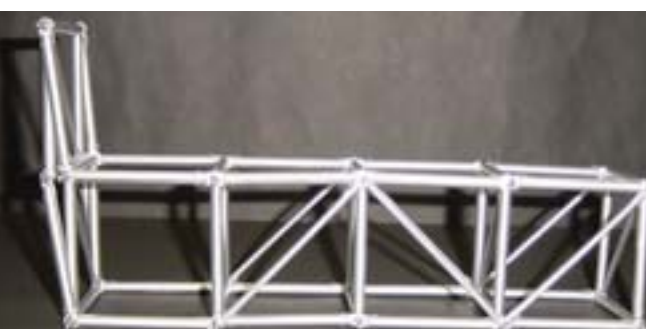


完成

シザーズ壁システム



展開イメージ



展開途中



完成 展開する柱